

第22回全日本ジュニアライフセービング選手権大会 第7回全日本マスタースライフセービング選手権大会

実施種目における競技規則補足について(別紙)

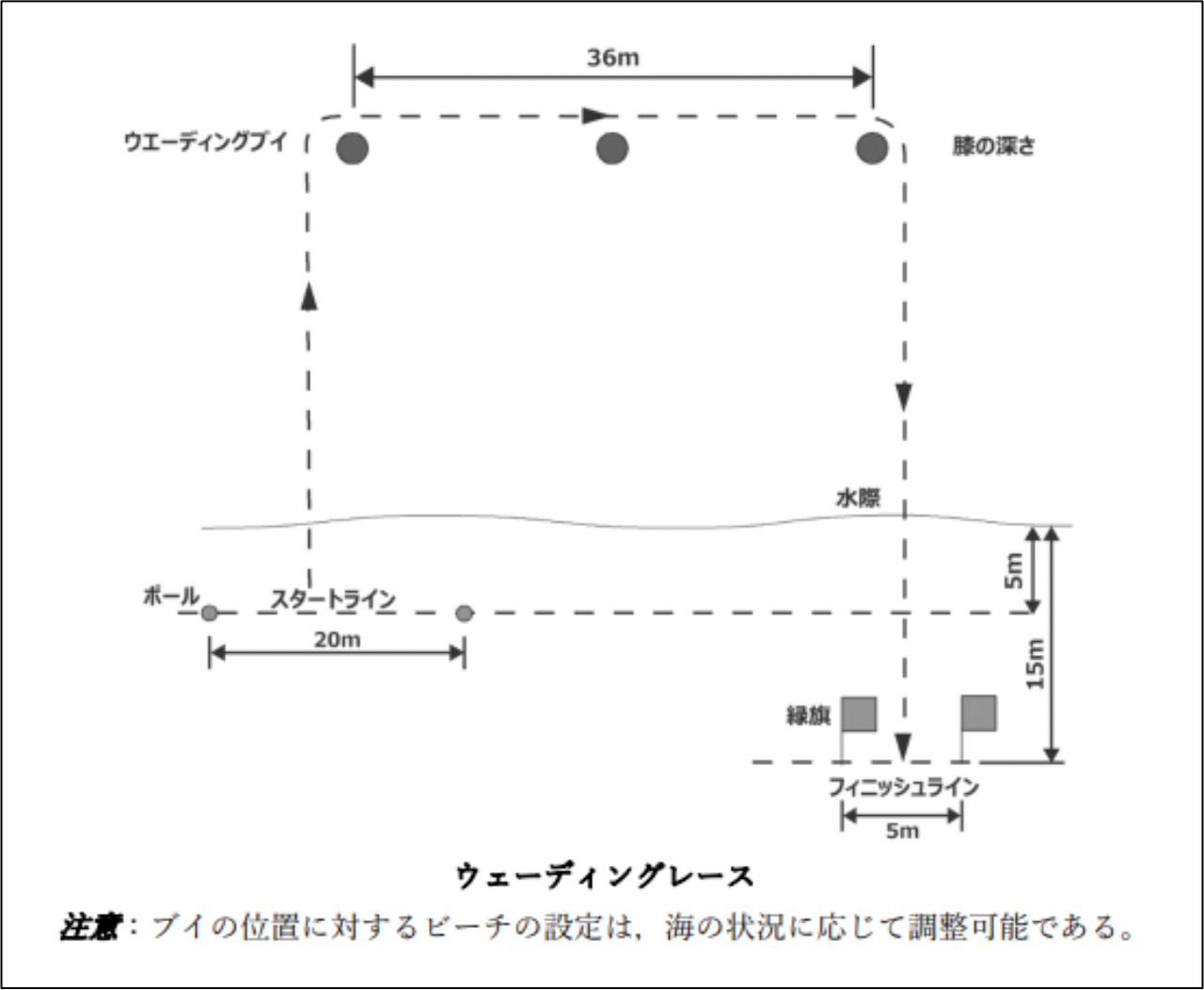
【ご注意！】

この別紙では、各カテゴリの各種目において実際に使用するコースやブイを提示しています。

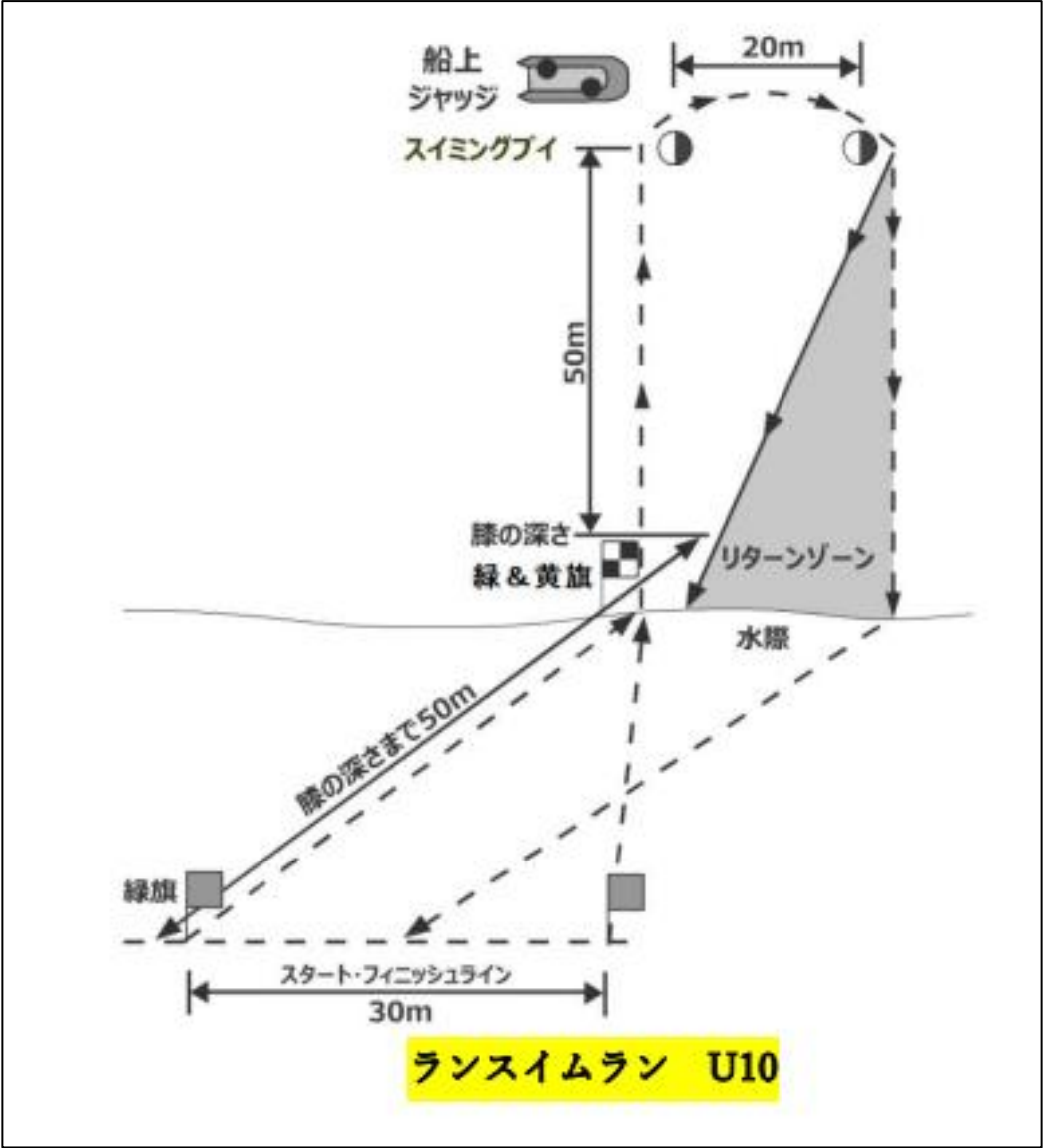
コース図だけを見て鵜呑みにすることなく、競技規則本文（付録含む）を必ずお読みいただき、各チームの指導者は各競技者への指導徹底をお願いいたします。

ジュニアシリーズ

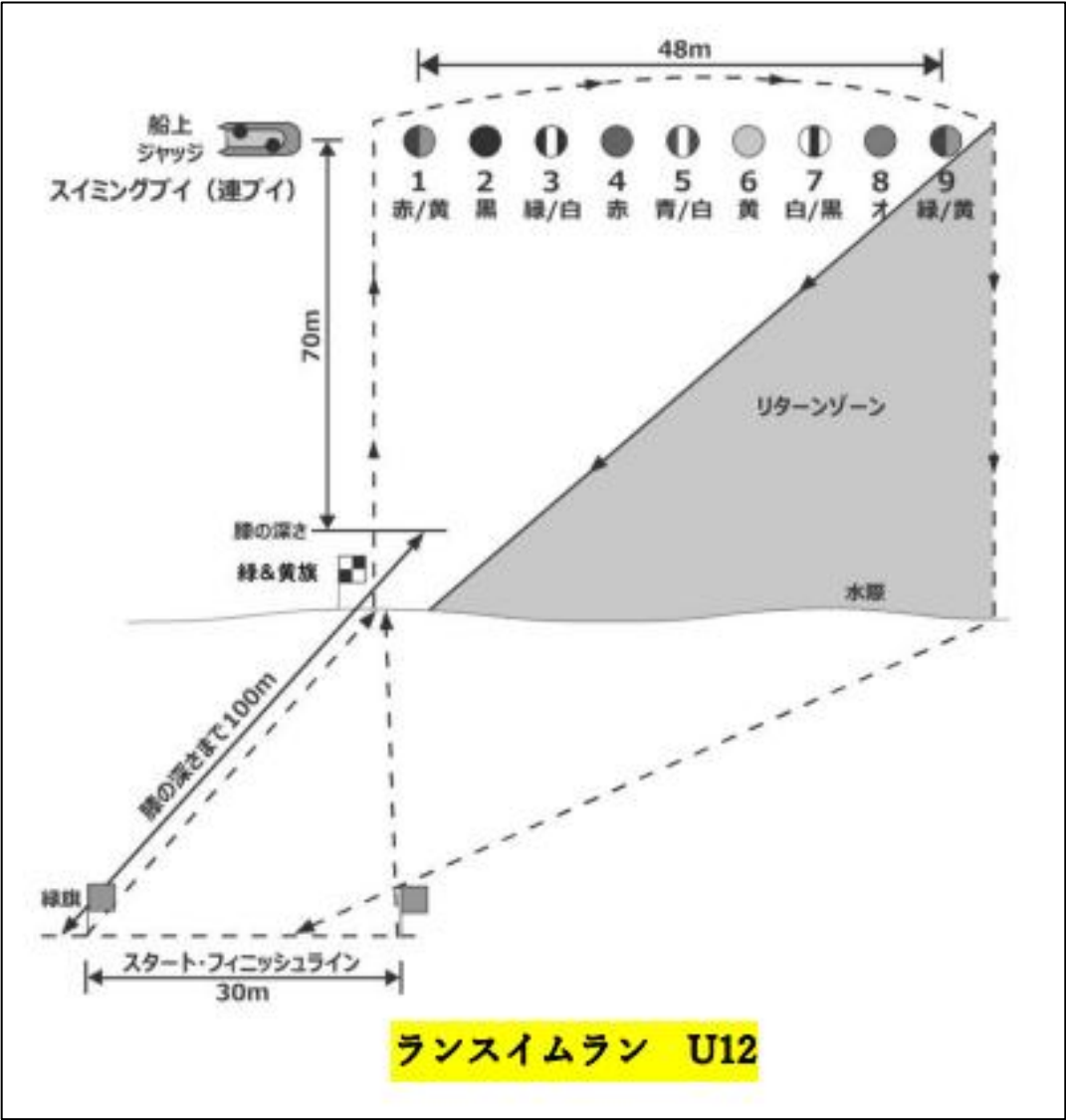
ウェーディングレース (U 8)



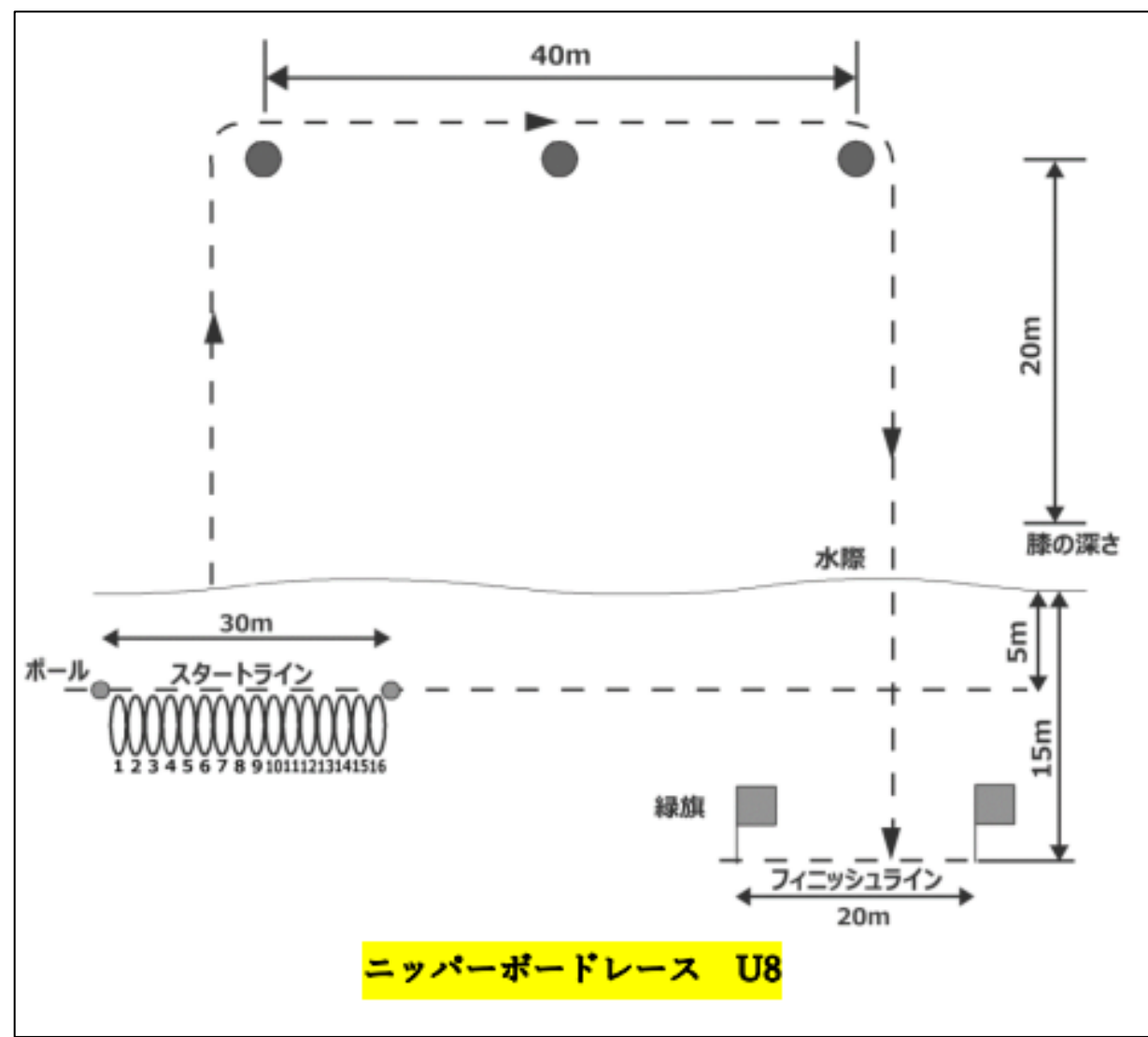
ランスイムラン (U 1 0)



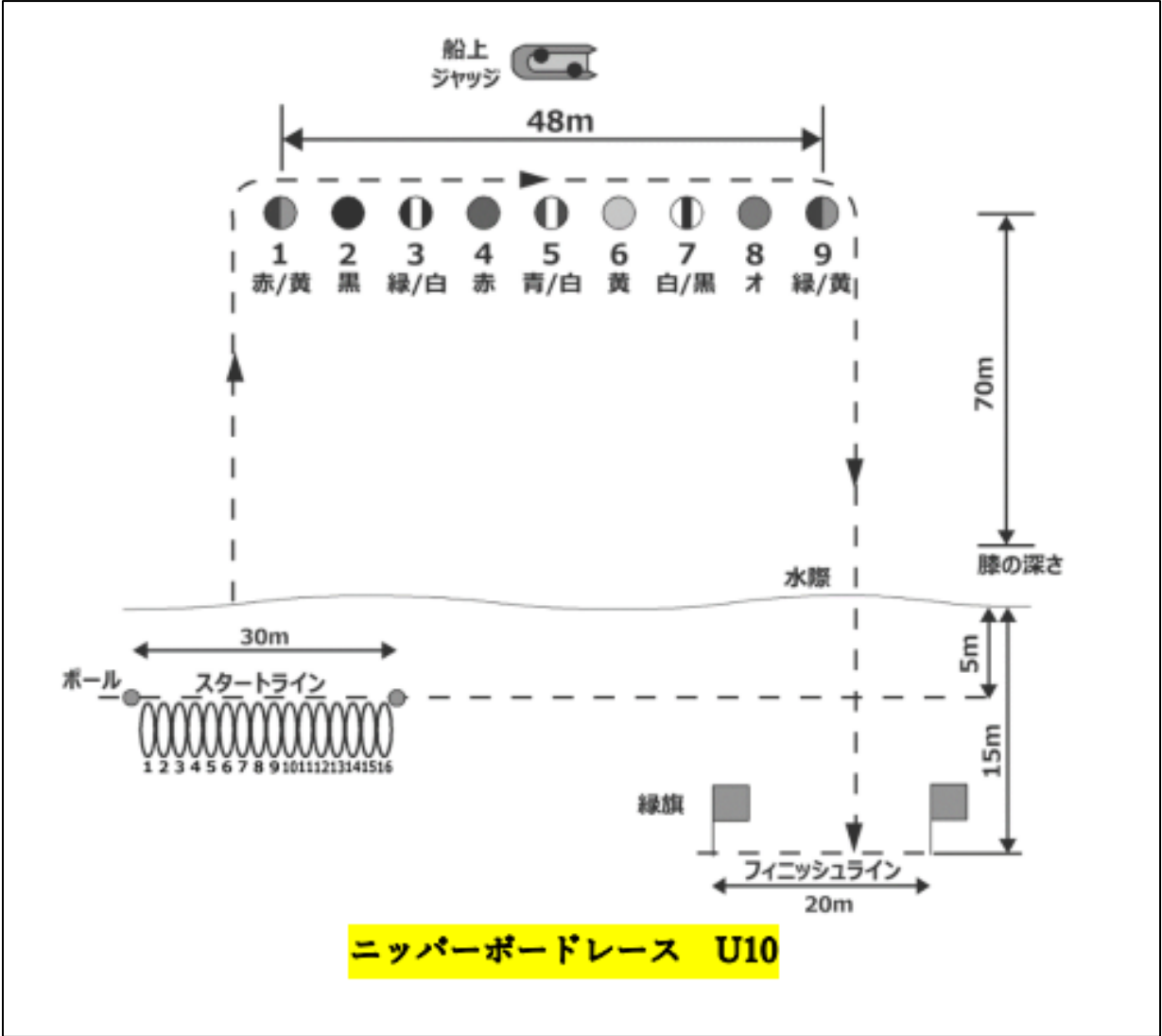
ランスイムラン (U 1 2)



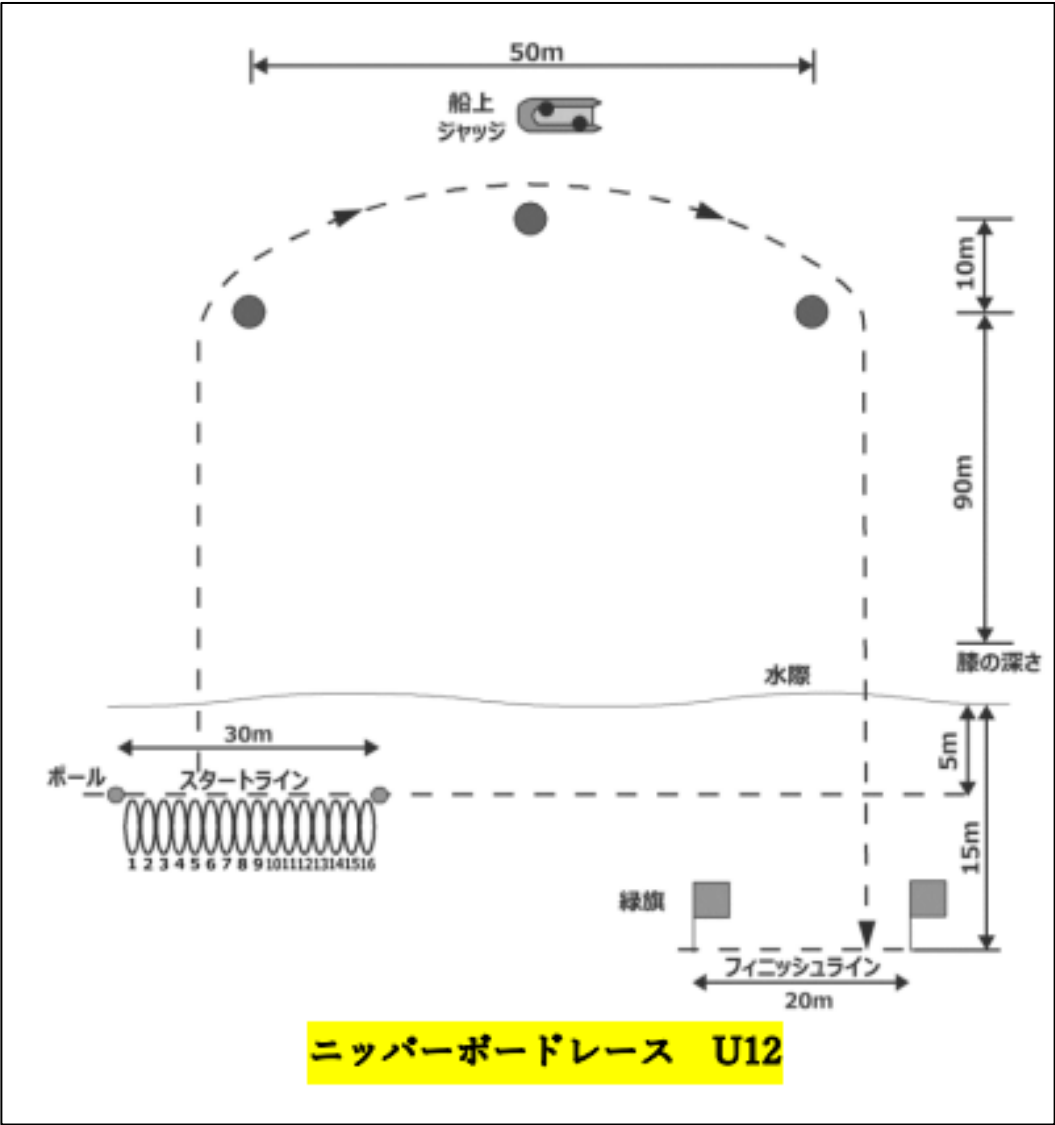
ニッパーボードレース (U 8)



ニッパーボードレース (U 1 0)



ニッパーボードレース (U 1 2)



ビーチフラッグス (ジュニア共通)

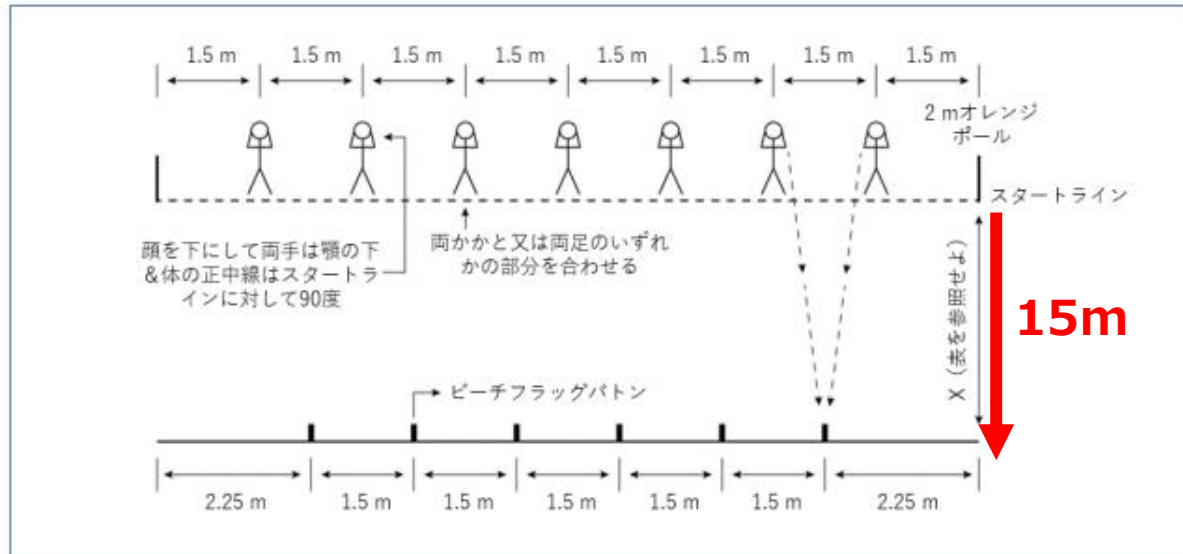


図 19：ビーチフラッグス (ランスルー毎に1人ずつ除外する場合)
(距離はおよその数値である)

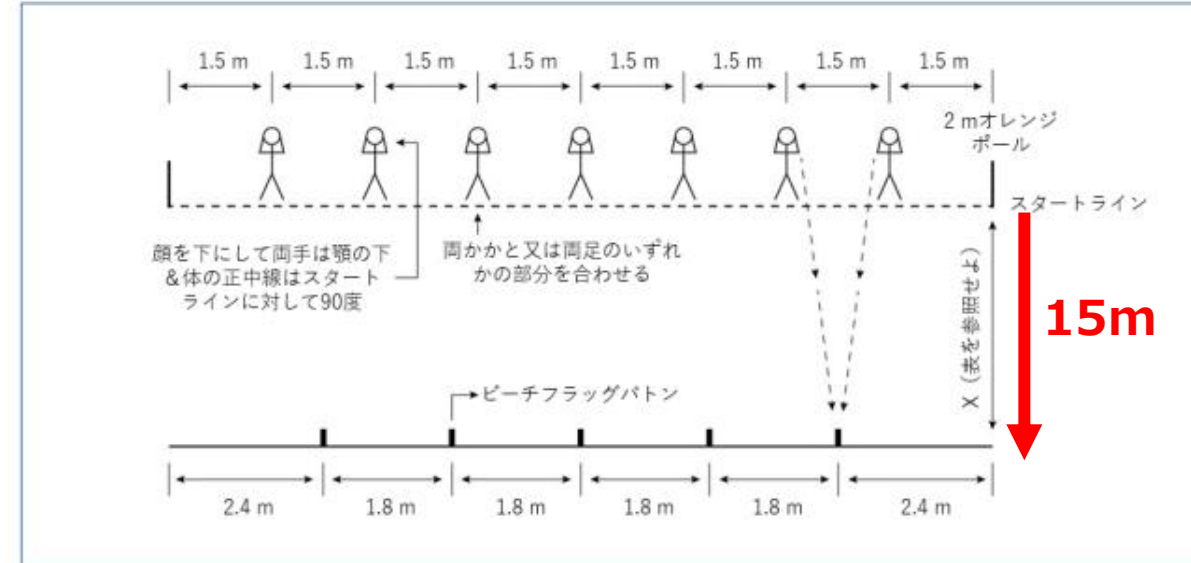
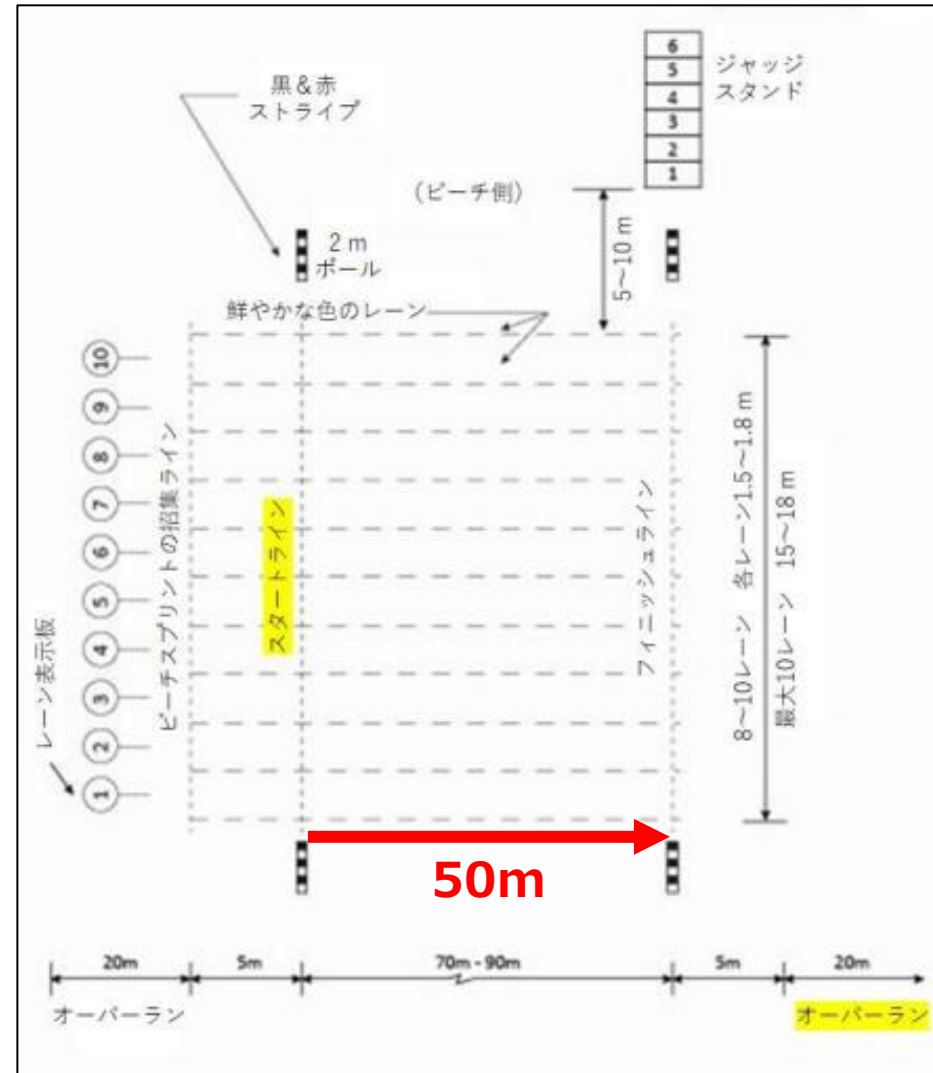


図 20：ビーチフラッグス (ランスルー毎に2人ずつ除外する場合)
(距離はおよその数値である)

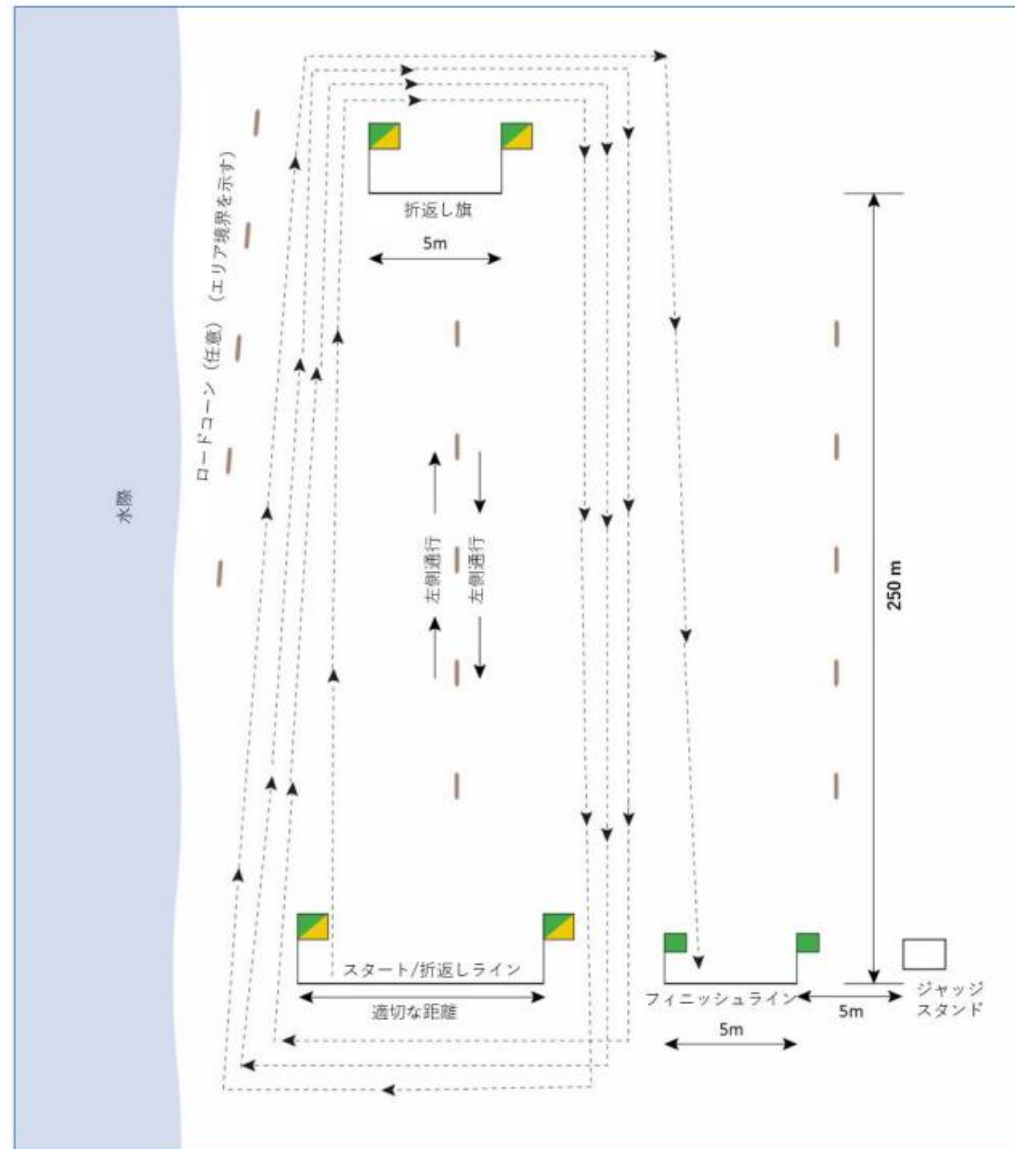
コースは、スタートラインからバトンまでの距離を**15m**として実施する。

ビーチスプリント (ジュニア共通)

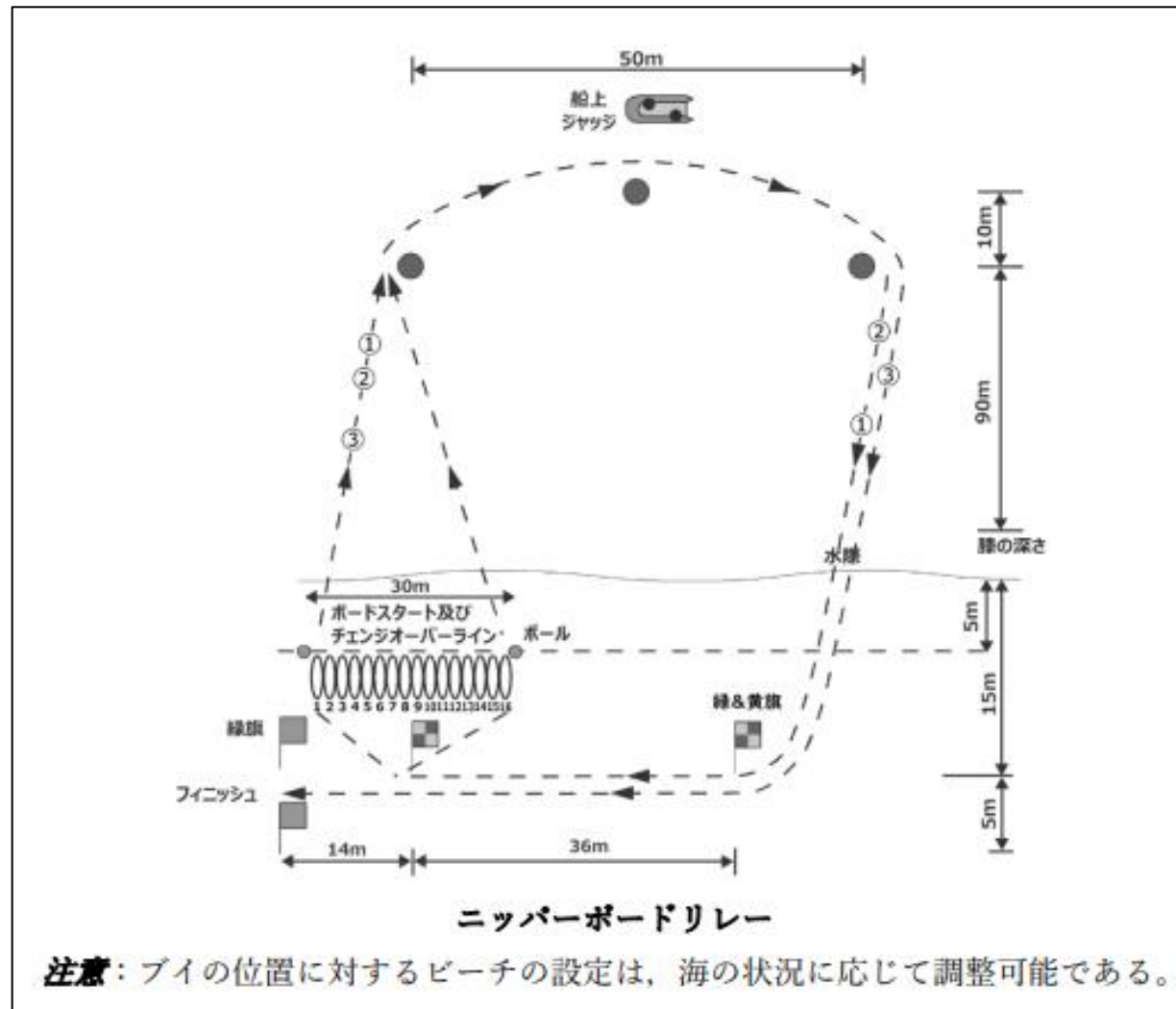


コースは、スタートラインからフィニッシュラインまでの距離を50mとして実施する。

ビーチラン (1km)

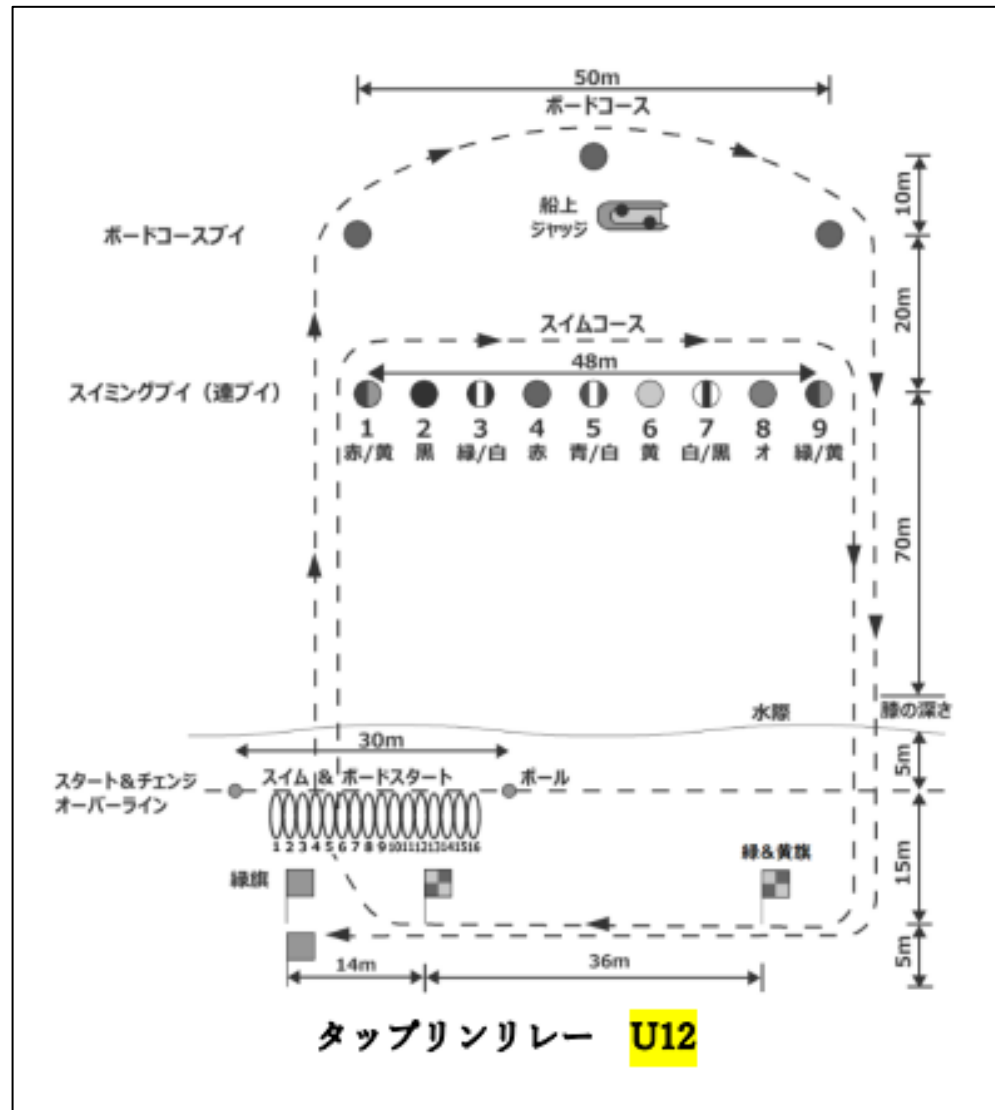


ニッパードリレー (U 1 0, U 1 2 共通)

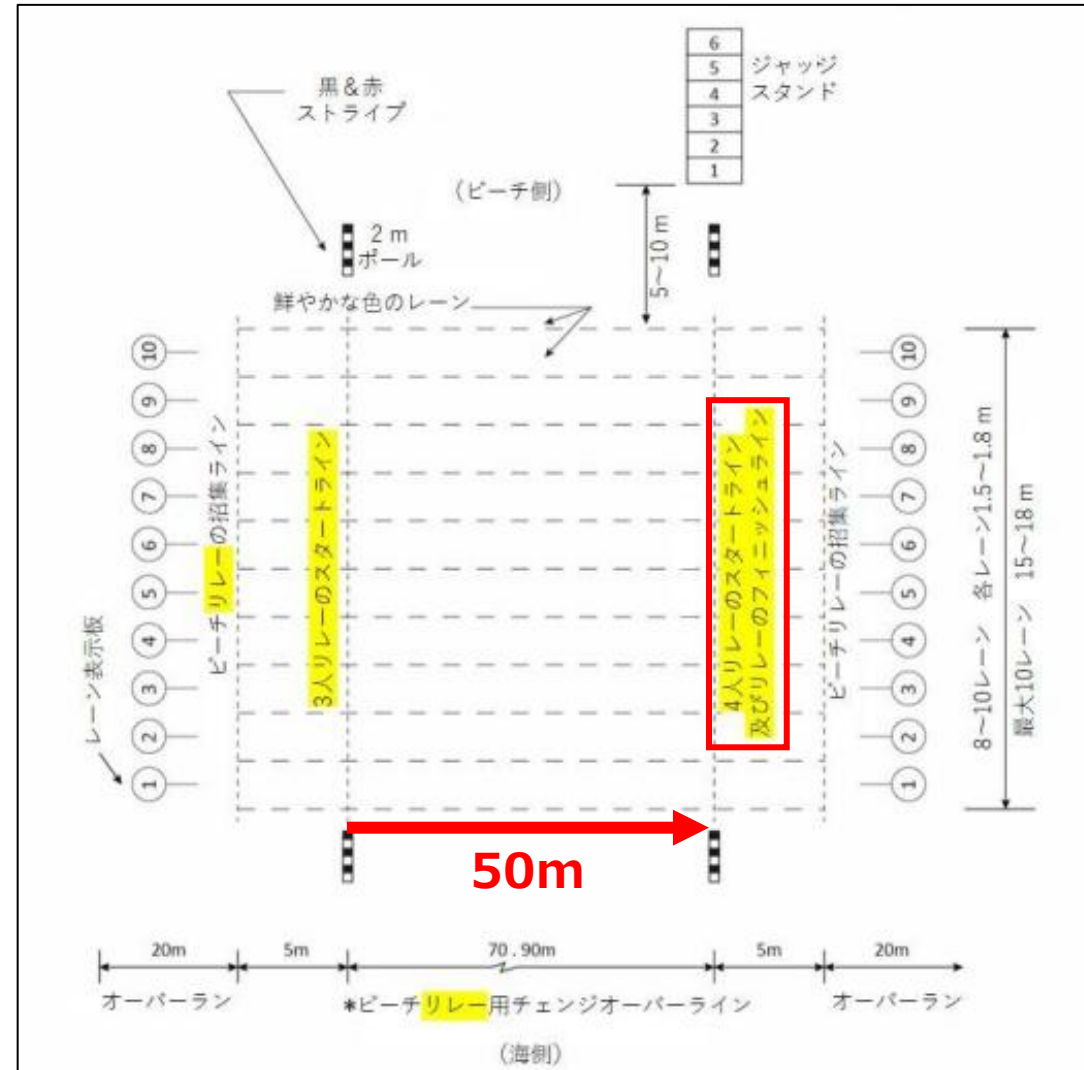




タップリンリレー (U 1 2)



ビーチリレー (ジュニア共通)

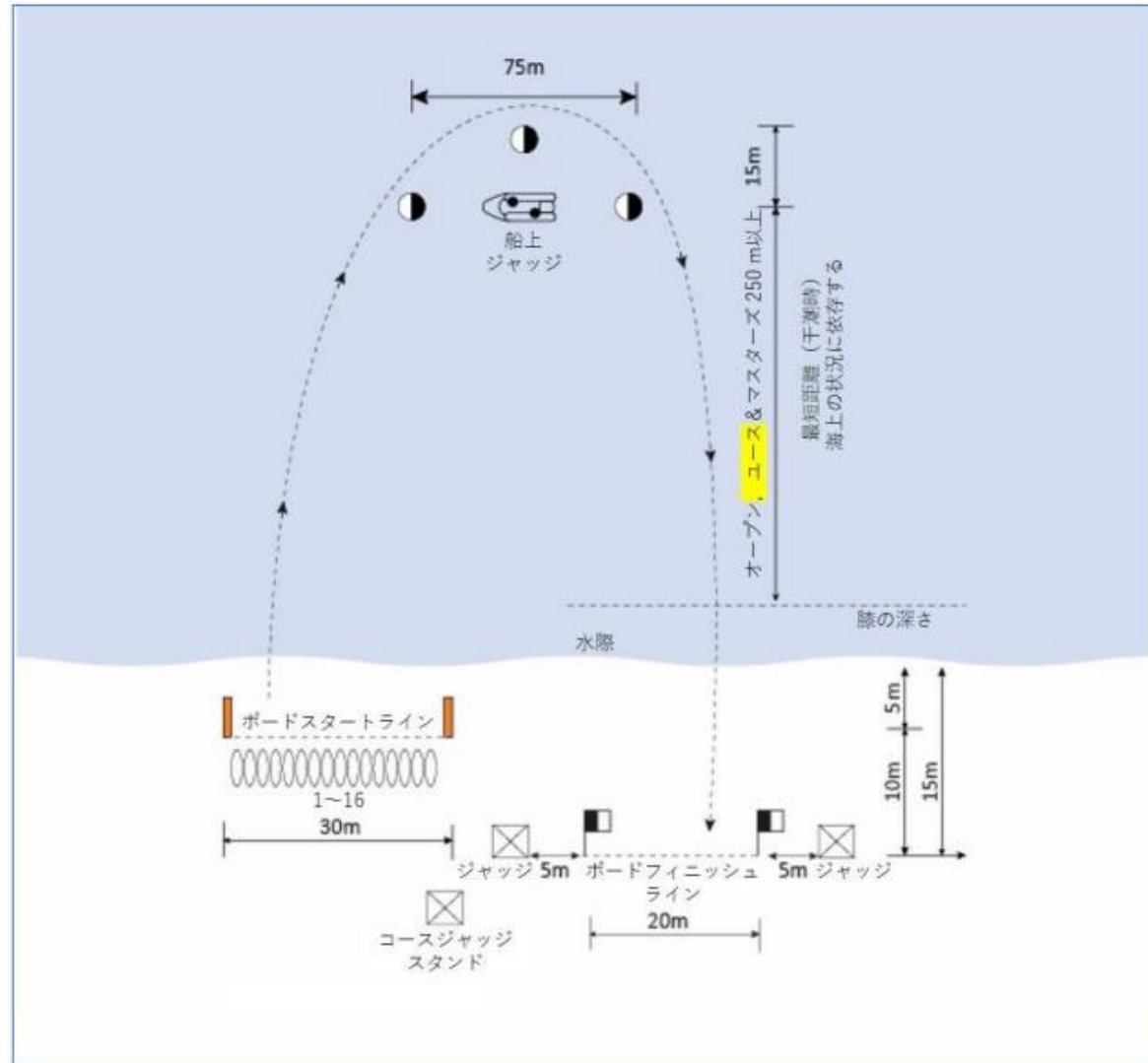


コースは、スタートラインからフィニッシュライン（又はチェンジオーバーライン）までの距離を50mとして実施する。

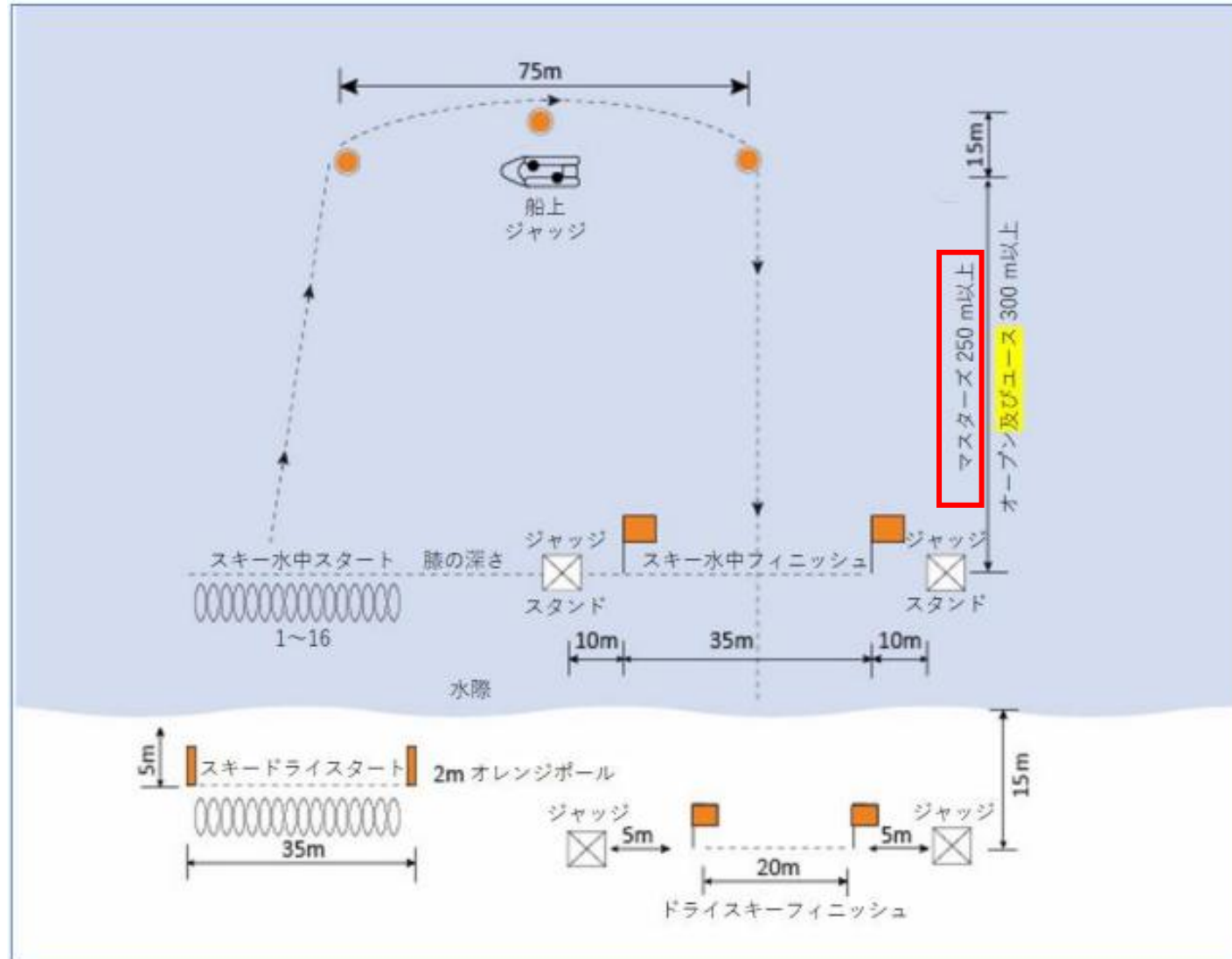
マスターズシリーズ



ボードレース (マスタース共通)



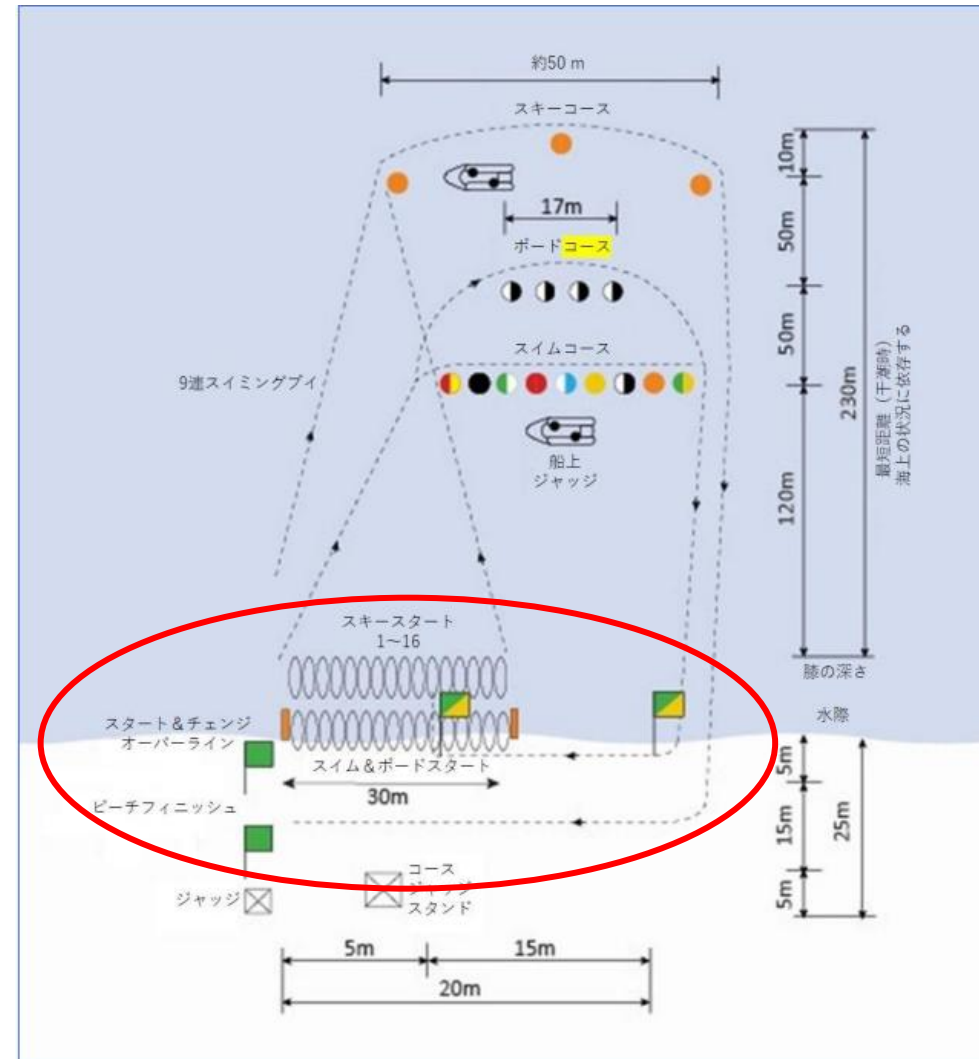
サーフスキーレース（マスタース共通）



※マスタースのルールとする（沖合250m以上）

オーシャンマン／オーシャンウーマン (マスタース共通)

マスタースシリーズ



マスタース・オーシャンマン/オーシャンウーマンは、2本の緑/黄の折返し旗を約 15m離して（波の状況を適切に考慮して走る距離が最小になるように）海岸線又は膝の深さに設置することを除いて、スタンダードなオーシャンマン/オーシャンウーマンイベントに準ずる。2本の緑色（又はエリア色）のフィニッシュ旗は約5mの間隔を空け、更に第2折返し旗から約5m離して水際に設置する。最初の区間がスイム又はボードの場合、競技は水際からスタートする。第2及び第3区間で競技者がクラフトをピックアップするため、ハンドラーは（適宜）クラフトを水中で保持して良い。

ビーチフラッグス（マスタース共通）

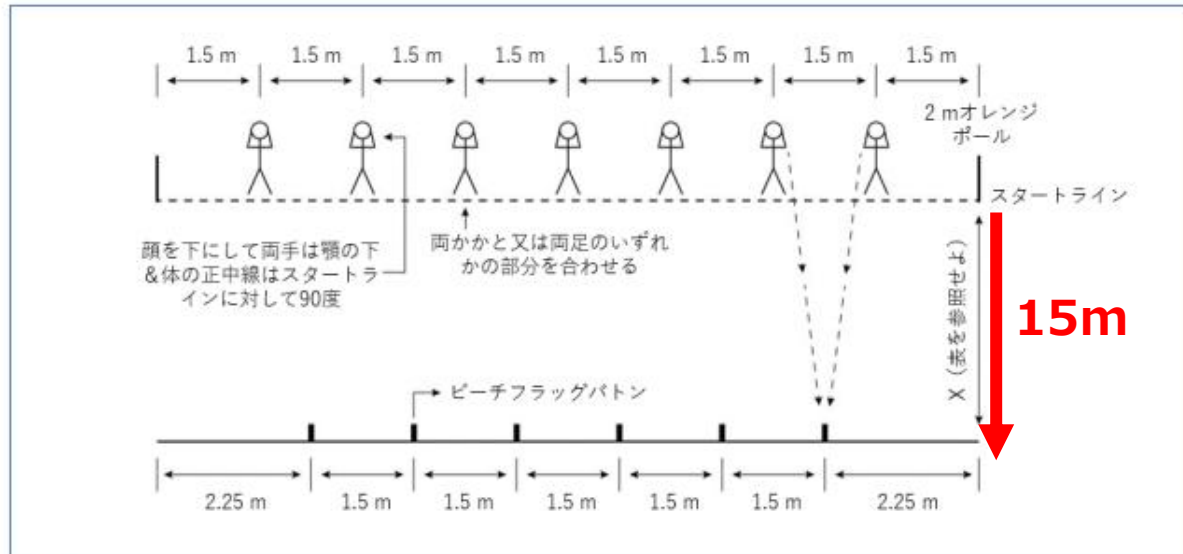


図 19：ビーチフラッグス（ランスルー毎に1人ずつ除外する場合）

（距離はおよその数値である）

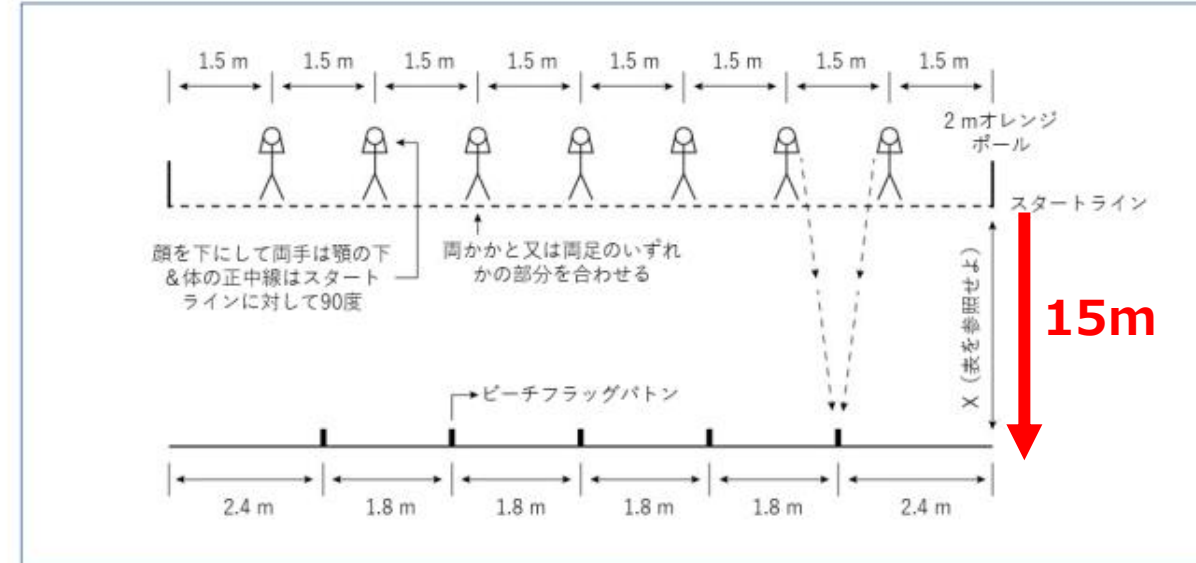
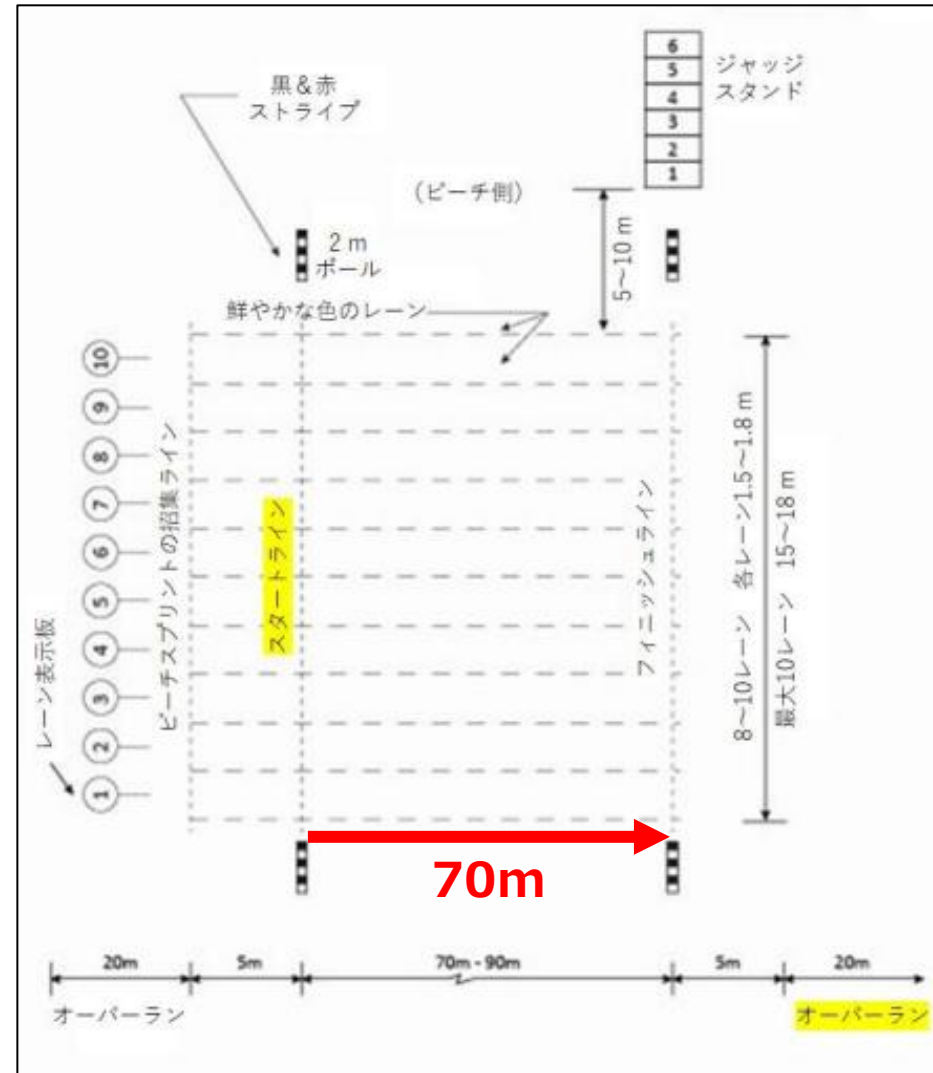


図 20：ビーチフラッグス（ランスルー毎に2人ずつ除外する場合）

（距離はおよその数値である）

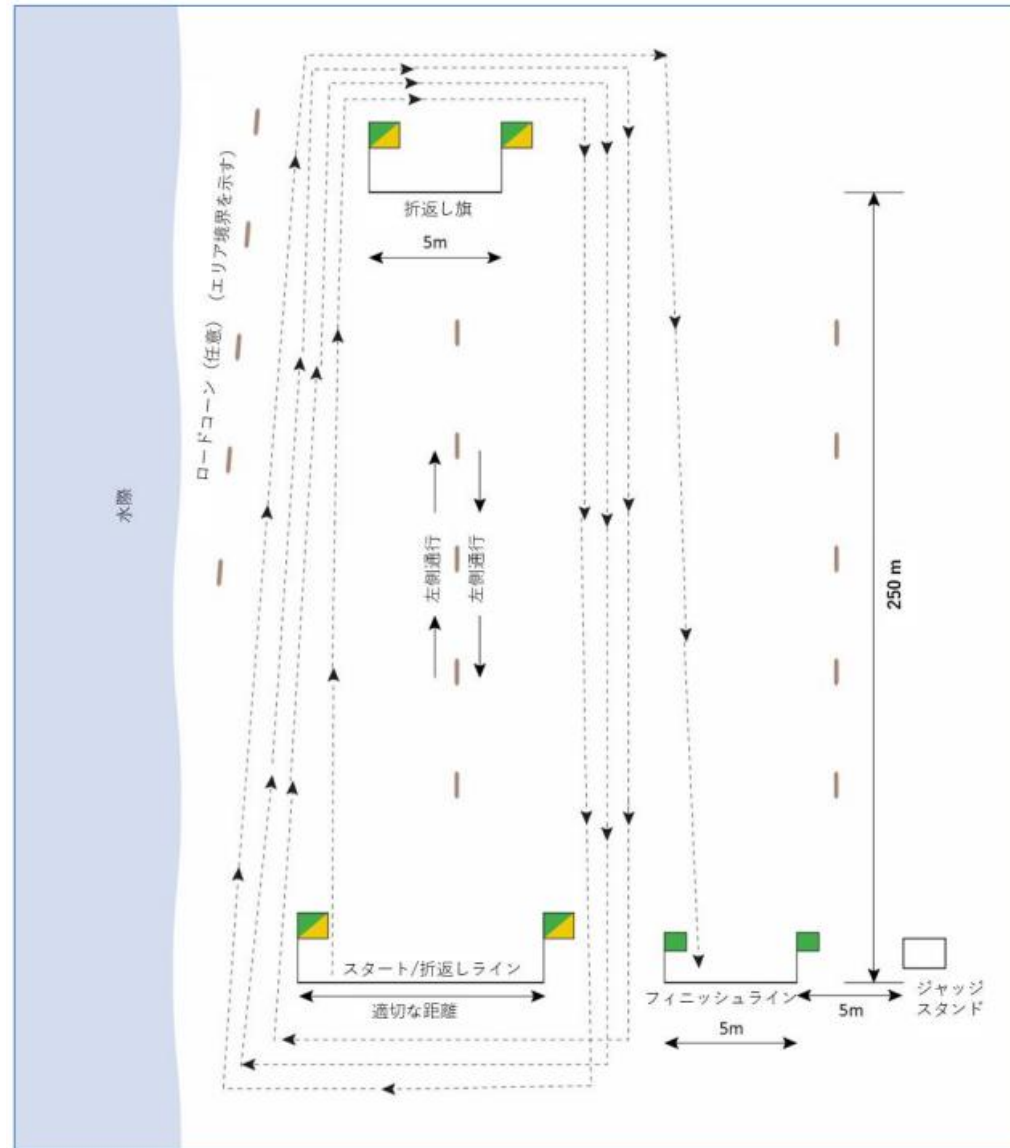
コースは、スタートラインからバトンまでの距離を**15m**として実施する。

ビーチスプリント（マスタース共通）

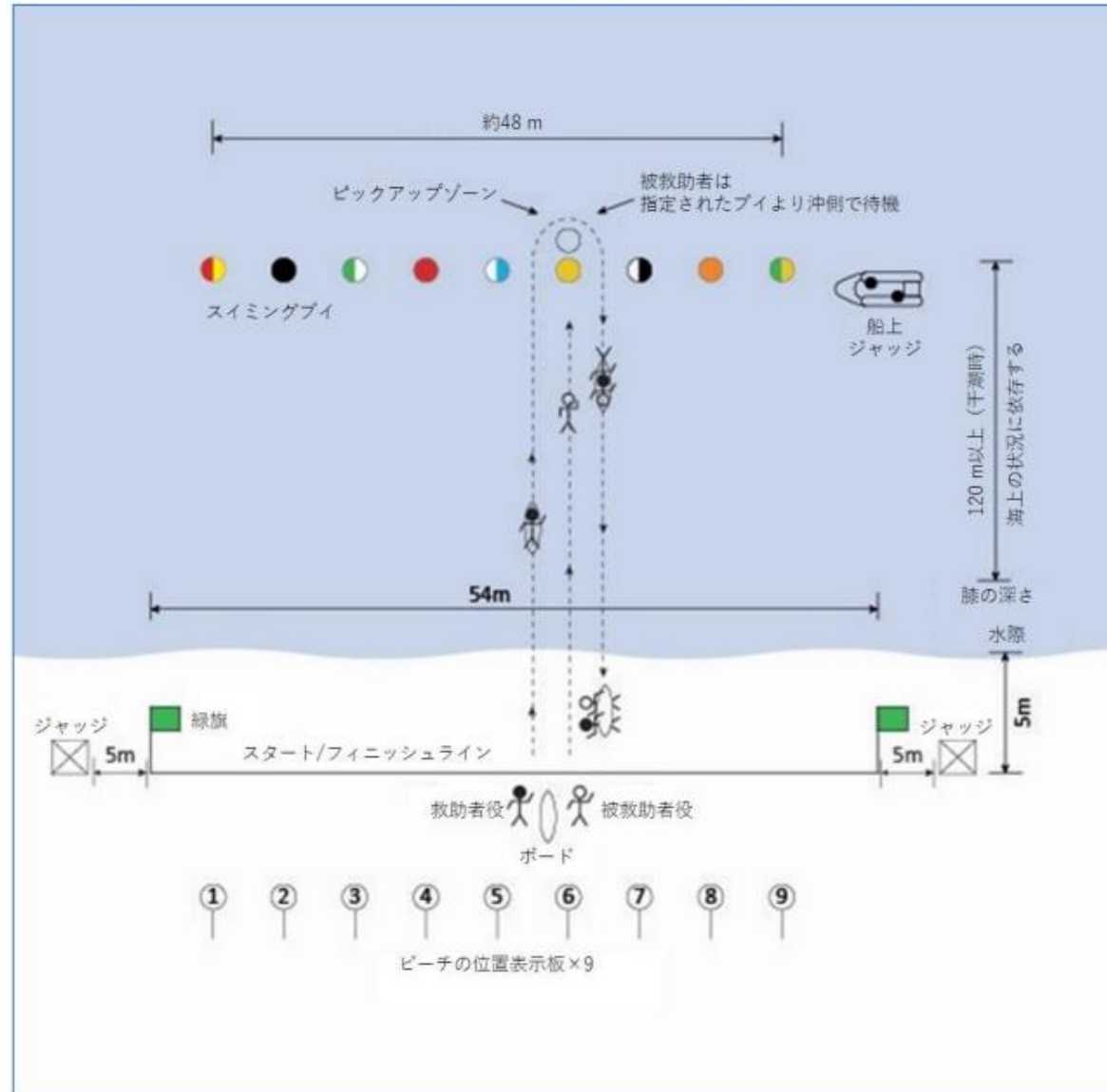


コースは、スタートラインからフィニッシュラインまでの距離を70mとして実施する。

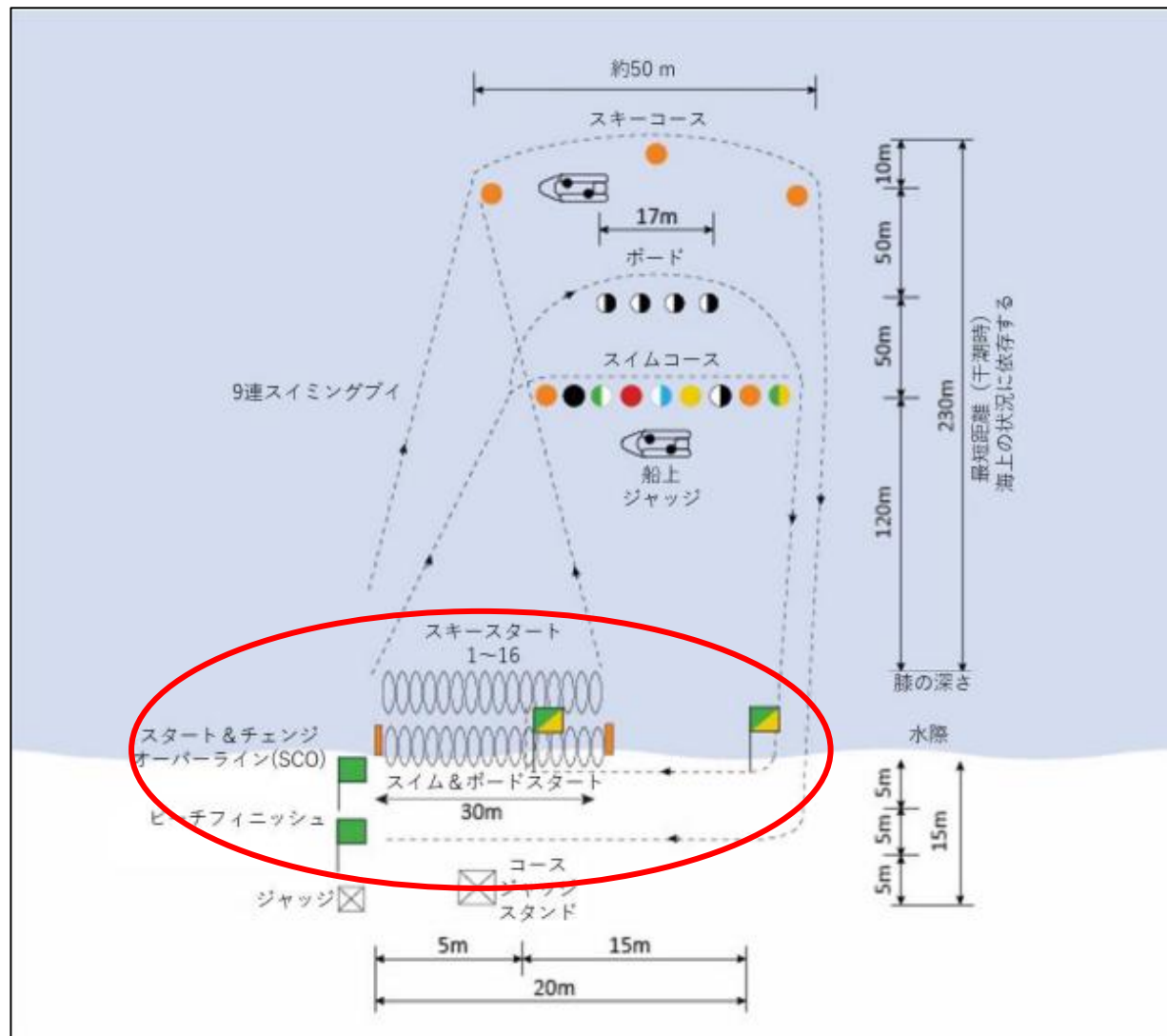
ビーチラン (1km) (マスタース共通)



ボードレスキュー（マスタース共通）

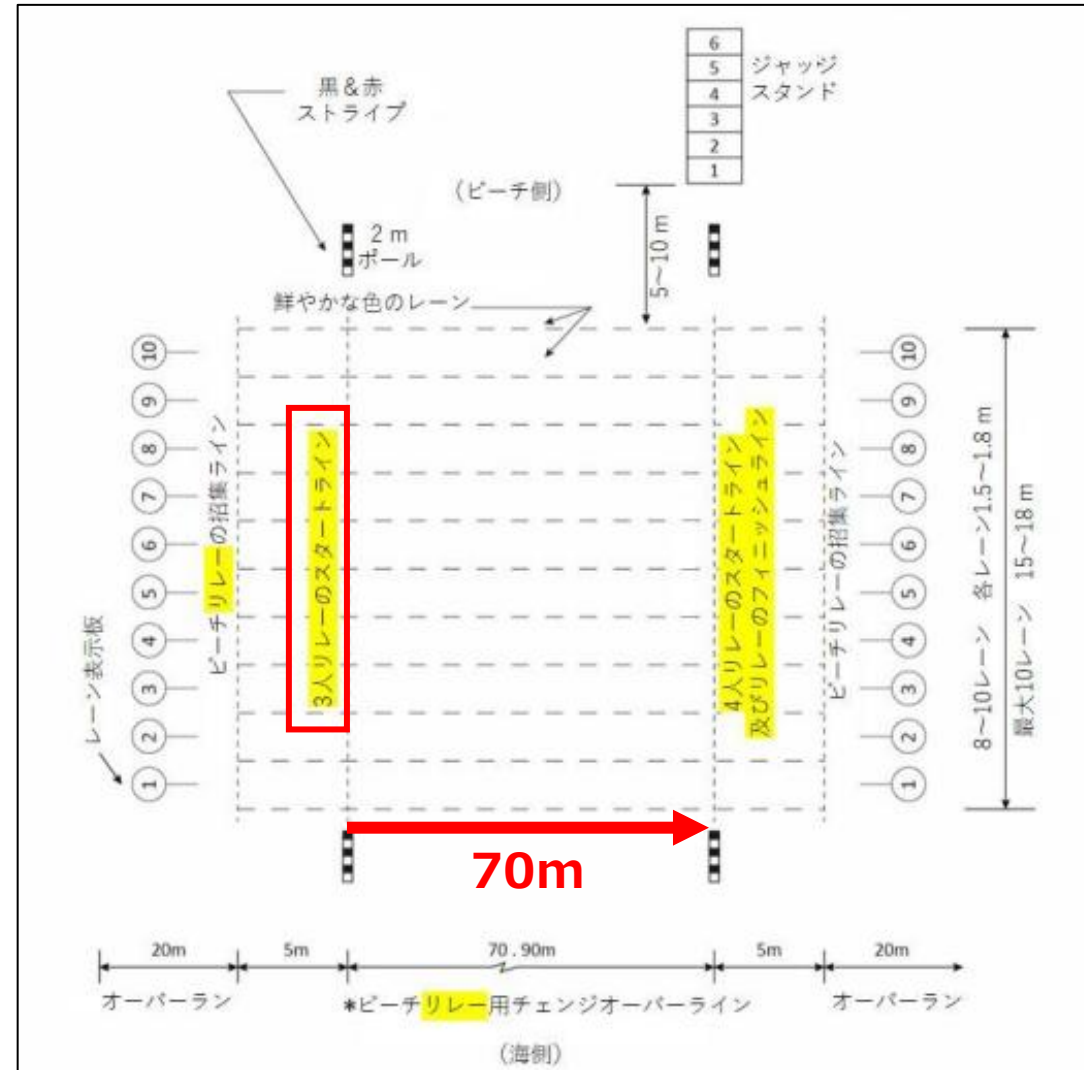


オーシャンパーソンリレー (マスターズ共通)



※ラン区間を除いた、スィム・ボード・サーフスキーの3人1組とする。また、第1及び第2競技者のコースはマスターズ専用のコースとする

ビーチリレー (マスタース共通)



コースは、スタートラインからフィニッシュライン（又はチェンジオーバーライン）までの距離を70mとして実施する。

ビーチランリレー (3×1km) (マスターズ共通)

マスターズシリーズ

